



■ 新日本科学 | 東京都

山平 悠さん (27)

志望理由明確に伝える

聞

病中の患者さんを手助けできる仕事に就きたくて、新薬開発関連の企業を志望しました。就職活動では、なぜこの会社や業界でなければダメなのかという自分ならではの理由を伝える点を大切にしました。

出身は熊本市。地元の大学の薬学部を卒業しました。5年生の時の薬剤師実習を通し、興味があるのは服薬指導ではなく、薬自体の開発だと気付かされました。その後、九州の企業に絞り、就職活動を始めました。

企業の情報収集では、受け身ではなく自ら動くように心掛けました。面接で同席した他大学の学生にも積極的に声を掛けました。“同志”の存在は、モチベーションの維持につながりました。

面接では薬剤師の実習経験を踏まえ、病院や薬局ではなく、企業に入りたいという気持ちを素直に訴えました。ぶれない軸を持つことが面接を乗り越えるコツだと思います。

九州の学生は、就職活動の取りかかりが東京や大阪の学生に比べて遅いと痛感しました。早い段階でインターンシップなどに応募し、意識を高めることをお勧めします。化粧品会社のインターンシップに参加した際は、社員の仕事観など生の声を聞けて、貴重な経験となりました。

会社に入り3年目。薬の安全性を評価する仕事をしています。産休後に復帰して活躍する女性も多く、心強いです。

仕事はマニュアル通りには進みません。求められるのは、コミュニケーション能力。学生時代から異世代の人と交流する機会を多く持ってほしいと思います。

Profile

2015年入社。鹿児島市宮之浦町の安全性研究所に所属する。崇城大学（熊本市）薬学部卒。熊本市出身。